



2023年4月1日 策定

## 焼山崎ジオサイト モニタリングマニュアル

モニタリングを実施した場合は、様式「モニタリング確認書」へ必要事項を記入の上、定点観察の写真を添付し、下北ジオパーク推進協議会事務局まで提出をお願いいたします。

1. 簡易カルテ				
名称	焼山崎	エリア区分	焼山崎	
所在地	むつ市脇野沢 佐井村牛滝	トイレ	なし	
アクセス	脇野沢港まで JR 下北駅から車で約60分			
駐車場	あり	看板	ジオ看板:あり(脇野沢港)	
説明	<p>脇野沢から牛滝まで約 16 km に渡って観察できる高さ 100 m 以上の全面露頭が見所のジオサイトである。</p> <p>日本海形成最後の段階(1350万年前頃)の金八沢層の玄武岩と桧川層の流紋岩質凝灰岩によって構成される黒鉱リフトの側面が観察できる。</p> <p>仏ヶ浦と対照的に赤や黄色など様々な色の崖を見ることができ、死の谷・火の崖・針の山といった地獄を思い起こさせる名称をつけている岩もある。</p> <p>断崖のため陸路で行くことが難しく、観光船などを利用し海上からの観察となる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>焼山崎</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>針の山</p> </div> </div>			
想定される事象	海流や風雨による侵食や風化による変化が想定される。			
留意事項	観光船夢の平成号「仏ヶ浦遊覧コース」の運航時期(毎年4月中旬～10月中旬)にモニタリングを実施する。			

2. モニタリング方法

船上から対象物を撮影し、撮影した日付を記載し協議会事務局へ報告する。

写真撮影対象物①「焼山崎」



モニタリングの理由

赤色が顕著であることからこの一帯の代表地としてサイト名になっている箇所であり、崩落などによる景観の変化が想定され、変化を記録するため。

写真撮影対象物②「血の谷」



モニタリングの理由

崩落が起きやすい部分であり変形の過程を記録するため。

写真撮影対象物③「針の山」



モニタリングの理由

崩落が起きやすい部分であり変形の過程を記録するため。



【定点観測写真撮影の目安】



3. その他確認事項

看板の破損などの異状があった場合は異状箇所を撮影し、現場の詳細を様式「モニタリング確認書」に記入の上、協議会事務局へ報告する。また、緊急性の高い異状については、確認時に事務局までご連絡ください。

4. 異状発見報告があった場合

モニタリング実施者から異状報告があった場合は、下記の流れで関係団体へ報告を行う。

事務局は、現場の状況を確認し、必要に応じ、ホームページやチラシなどで地域住民や来訪者に対し周知を行う。

